

子ども ゴールに向かって自分らしさを磨こう
～心を通わせながら～



富小っ子 どまんなか学校

教職員 エージェンシーで「笑顔」と「潤い」を
～今こそ「すべての子どもたちのために」～

戦後 80 年を迎えて

校長 田畑 幹夫

暑い夏、とりわけ7月は異常だったと思います。体調など崩されなかったでしょうか。

さて今年の夏は、「戦後 80 年」という節目の年でもありました。始業式では、このことをテーマに子どもたちに話しました。まず、8月15日に届いた「北海道新聞特別号」を子どもたちに紹介しました。現代風にアレンジされた紙面には、ソ連（現在のロシア）が樺太・千島列島に進行したこと、広島・長崎に続き、もし戦争が続いていたら3発目の原子爆弾が札幌に落とされていたかもしれないこと、また天皇陛下の終戦を伝えるラジオ放送（玉音放送）が当時の人々にはとても難しい言葉だった……こうした内容がわかりやすく掲載されていました。



そして、子どもたちに、2つ問いかけました。一つ目は、「戦後 80 年となった今でも、世界では紛争や戦争が起きている」という現実についてです。日本が平和を保ってこられたことは本当に素晴らしいことですが、果たしてこの平和は 90 年、100 年とこれからも本当に続いていくのか……実は私も不安がある、という話をしました。二つ目は、「戦争を語ってくれる人たちが高齢になり、その声がだんだん聞こえなくなっている」という現実です。実際に、子どもたちに 80 歳以上のおじいちゃん・おばあちゃんがいるかを聞いてみたところ、ほんのわずかでした。戦争を知らない世代が増えていく中で、戦争の悲惨さをどう伝え、どう記憶していくかが、私たちの大きな課題であると感じています。

私たちは平和な世界を希求し続けなければなりません。戦争を知らない私たちだからこそ、その悲惨さをしっかり学び、「絶対に戦争を起こしてはならない」という強い意志を持つ必要があります。小学校で学ぶ各学年の国語では、戦時中を題材とした物語文が登場し、6年生社会科では歴史を通して戦争について深く学ぶ機会があります。こうした学びを重ねていき、子どもたち一人ひとりが、史実を正しく捉え、世界の平和を願い行動できる人になってほしいと強く願っています。

話の最後で、広島の平和記念式典で、広島市在住の小学生二人が発表した「平和宣言」の内容を紹介しました。「多様性を認め、相手を理解し、思いやりの心で話し合うことの大切さ」が語られていました。広島から世界に向けて発信してくれたことに、私も深く感銘を受けました。

私からもメッセージを伝えました。「友達を大切に」「けんかをしても仲直り」「まわりの人にやさしく」……日常の小さな行動が、やがて世界の平和へとつながっていくに違いない。

2学期は、学芸会・演劇祭・歌声集会・未来づくりフォーラムなど、みんなで力を合わせて取り組む行事がたくさん予定されています。仲良く、元気に、そして気持ちのよい挨拶ができる学校生活を送ってほしいと思っています。

保護者の皆さまには、引き続きお子さんが毎日元気に学校生活を送れるよう、睡眠や食事などの生活面のご配慮、そして心の変化に気づいて寄り添っていただければ幸いです。

夏休み作品展

2階ホールにて、26日（火）から9月5日（金）まで、夏休み作品展を開催しています。この展示では、富良野小学校の児童が夏休み中に取り組んだ自由研究や工作、書写など、心を込めて仕上げた作品が一堂に並んでいます。どの作品にも、それぞれの「好き」や「疑問」、「挑戦したい」という気持ちが込められており、子どもたち一人一人の個性や努力の跡が感じられます。夏休みの間に時間をかけ、試行錯誤しながら完成させた作品には、学びのプロセスや達成感が詰まっています。何かに向かって取り組む姿勢、最後までやり遂げる力は、これからの成長にもつながる大切な経験です。ぜひ学校にお越しの際は、それぞれの作品に込められた思いを感じながら、ごゆっくりご鑑賞ください。

通行規制全面解除

昭和 48 年から続いていた校舎周りの通行規制ですが、一昨秋に市街地に熊が出没して以降、東西側は解除されており、今年度は北側のみ規制が続いていました。昨年、通行規制全面解除の申請書を警察署へ提出していましたが、ついに2学期開始時から北側の標識がなくなりました。これで、すべて解除となりました。

今回の解除を受けて、当面は北側の通行量の変異を把握するとともに、主に東側の車両の現状（停車の仕方に問題がないかなど）に関わって注視して参ります。

富小っ子サポートの皆様や見守り隊の皆様にご協力をいただくこともあろうかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



学習サポート

8月8日（金）、富良野高校・富良野小学校のCS（コミュニティ・スクール）連携事業として、夏休み学習会を実施しました。小学生は、21名が参加し、CS委員の皆様や高校生ボランティアなど、10名による手厚い支援のもと、自分で計画してきた学習に集中して取り組みました。中休みには、CS委員の山本さんによる紙芝居の読み聞かせもあり、勉強の合間の楽しいひとときとなりました。短い時間ではありましたが、子どもたちにとっても、支援してくださった方々にとっても、有意義な時間となりました。

学習会を終えて、高校生やCS委員の皆様からは「子どもたちが集中して学習に取り組んでいた」「分からないところを自分から質問する姿に感心した」「子どもと関わる楽しさや、教える喜びを感じた」といった感想が寄せられました。また、「将来の職業選択の視野が広がった」「子どもとどう関わるかを学べた」といった声もあり、学ぶ側・支える側双方にとって実りある機会となったことがうかがえました。今回ご協力いただいた高校生・大学生・CS委員の皆様には心より感謝申し上げます。今後も、子どもたちの学びを地域で支えるこうした取組を大切にしていきたいと思っています。



9月行事予定

- 1日（月）児童会
- 2日（火）富小っ子朝会・クラブ活動
- 5日（金）交通安全街頭指導
- 11日（木）4年水泳学習・校外巡視
- 12日（金）学芸会係活動
- 15日（月）敬老の日
- 18日（木）学芸会係活動
- 24日（水）総練習（児童公開日）
- 27日（土）学芸会
- 29日（月）振替休業日・口座振替日
- 30日（火）2年水泳学習